

「手助けが必要な人」と「手助けができる人」をつなぐ ヘルプマーク・ヘルプカードを配付しています

外見からは分かりにくい障がいや病気、妊娠初期の方などが、配慮を受けやすくなるよう、「ヘルプマーク」と「ヘルプカード」を無料でお渡ししています。

ヘルプマークは、見た目では分かりにくい内部障がいや難病、妊娠初期の方などが、周囲に支援や配慮を伝えるためのストラップ型の目印です。これを身につけることで、周囲の協力や配慮を促すことができます。

ヘルプカードには緊急連絡先や必要な支援内容を記入でき、普段から持ち歩くことで、日常や緊急時、災害時などに適切な援助を求めることができます。

【対象】

義足や人工関節を使用している方、身体障がい、知的障がい、精神障がい、発達障がい、内部障がいのある方、難病の方、妊娠初期の方など、外見からは支援や配慮を必要としていることが分かりにくい方。

【申し込み】

障がいなどが分かる書類をお持ちのうえ、窓口でお申し込みください。
※ヘルプマークは1人、1個までです。

【申請先・問い合わせ】 福祉課福祉・子育てグループ ☎73-2222

南空知消費生活相談室です!

相談室の専用電話ができました!

☎73-7516 ▶ ☎76-9550

今月のテーマ「巧妙化する定期購入トラブルにご注意!」

事例

「一回限り」のはずなのに定期購入になっていた、というトラブルが増加しています。相談者から話を聞いたところ、商品の申し込み時に、「さらにお得なご案内」が表示され、それを利用したことにより定期購入に誘導されたようです。

こんな事例が増えています。

「定期縛りなし」という記載があった商品を申し込むと割引クーポンが表示され、使用したら意図しない定期購入となり、途中解約不可と言われた。

POINT!

トラブルにあわないために以下の点に注意してください。

- 「定期縛りなし」の記載があっても定期購入契約かもしれません
- 注文確認前に最終確認画面をよく確認しましょう
- 契約条件に関する記載はスクリーンショットで保存しましょう

「定期縛りなし」や「一回限り」などの記載に目が行きがちですが、最終的にどのような契約になっているかを把握して購入の判断をすることが大切です。
お困りごと、相談ごとは消費者ホットライン「188」へ

【相談日】

毎週 月～金曜日（祝日除く） 8:30～17:15（商工観光課内 ☎76-9550）
※上記の曜日以外の相談は、消費者ホットライン「☎188（いやや）」へ

元気が一番

保健のお知らせ 【問い合わせ】 住民福祉課健康推進グループ ☎73-2256

ジェネリック医薬品を活用しましょう

Q. ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは？

ジェネリック医薬品（後発医薬品・以下ジェネリック）は、新薬（先発医薬品）と有効成分・品質・効き目・安全性が同等であると国から認められたお薬です。



Q. ジェネリック医薬品のメリットは？

- ① 新薬と同じ有効成分・効き目でありながら低価格です。新薬より3割以上、中には5割以上安くなるものもあります。
- ② 高齢化に伴い、国全体の医療費は増え続けています。患者さんの負担が減ると同時に、国全体の医療費削減につながります。
- ③ 錠剤の苦味を抑え、サイズを小さくするなど、飲みやすさや扱いやすさが考えられた医薬品が豊富にあります。



Q. どうすれば、ジェネリック医薬品を選べるの？

受診の時や薬をもらう際、ジェネリック希望であることをお伝えください。また、厚労省ホームページや住民保健課などで配布している「ジェネリック医薬品希望シール（カード）」を提示することで意思表示ができます。

※現在処方されている薬に対応するジェネリックが未開発の場合や、医師がジェネリックへの変更を好ましくないと判断した場合は変更できません。

まずは医師、薬剤師にご相談ください。

集団健診のお知らせ



【日時】 7月27日(月) 7:50役場集合

【場所】 札幌がん検診センター

※健診項目などの詳細は4月号折込「保健サービスガイド」をご覧ください

■受付窓口

住民保健課
健康推進グループ
☎73-2256

■インターネット受付

栗山町 集団健診

申込は

こちら→



健康器具を活用し健幸に Vol.1

暖かな空気に包まれて気軽に外出したくなる季節になりましたね。町では「SWC(スマートウェルネスシティ)～歩きたくなる『まち』～」を目指して、町内に健康器具を設置しています。右下写真は椅子に座り、真上のバーを握り、上半身を倒しながらわき腹を伸ばす器具（ストレッチフープ）です。

お近くに来た際にはぜひお試しく下さい。

【設置場所】
図書館

